

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構



さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 34

健・康・通・信



1内科病棟にいてふと考えていること



さくら病院 1内科病棟長
秋満 俊介

最近急に寒くなってきましたが、みなさんは体調を崩されてはいませんか？今年は新型コロナウイルスに振り回された1年となりそうです。さて、この10月から1内科病棟長に任命されました。とはいっても、前回のさくらだよりでお話した通りまだ赴任して半年です。一体何をすればいいのだろうかと考えていましたが、最近は何とか院内では顔が知られてきたように、あちこちでよく声をかけていただく（用事を頼まれることが多いですが）ようになりました。何となく自分のポジションができてきたようです。1内科はご存知の通り急性期病棟であり、月に約100名の入院患者さんを受け入れています。平均在院日数は15日程度をキープしており、超急性期、回復期、終末期と本当に様々な患者さんが来られます。救急病院であるため、全くベッドが空いていない状態でない限り急患を断ることなく、スタッフが全員一丸となつてがんばっています。他部署のスタッフとも連携を取り合つて、患者さんが安心して入院できるように、きめの細かい医療サービスが提供できるような、少しでも役に立ちたいと考えておりますので、どうかよろしく願います。

ACLSチームの活動

1 内科 看護師 永隈 三和子

職員のみならず、
ACLSチームへの参加者募集!!
興味のある方、
是非一緒に勉強しましょう!

当院のACLSチームは発足3年目となり、Drやコメディカルの方にも参加していただくことで、より現場に近い勉強会を開催することができるようになりました。

全職員を対象とするため発足当初は年間2回の勉強会では実際に体験していただけなかった方も多く消化不良の状態でしたが、規模を縮小し年間5回開催することによって実際に体験していただけるようになり「勉強になった」「臨床に活かしたい」などの評価を得ています。

ACLSとはBLS(一次救命)にさらに換気補助器具の使用、静脈路確保、薬剤投与、心電図のモニタリング、除細動その他の不整脈治療、蘇生後のケアなどを加えたものをいいます。現在勉強会で



(訓練用モデル)



実施している内容は時間や設備、機材に限界があるためその一部を実施しているにすぎませんが、日常業務の中で患者様の急変に迅速、的確に対応できるよう最低限必要な知識、技術を身につけていただける内容をチームメンバー一同試行錯誤し、メンバー自らも練習を重ねながら勉強会開催に臨んでいます。

今はぎりぎりの人数で活動しているため思うように指導できていないのではないかとという不安もぬぐいきれません。少しでも興味をお持ちの方は是非チームへの参加をお願いいたします。楽しく学べる勉強会を目指し一緒に活動をして頂けませんか?

さくら病院

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションでは、心身機能の回復・維持のための日常生活の自立援助を行なっております。サービス内容は、リハビリ・レクリエーション・クラフト作成等のプログラムを行なっております。

また、季節に合った様々な行事などを行なっております。夏祭り、クリスマス会と並ぶ3大行事のバスハイクを10月中旬に行ないました。今回は「博多町家」ふるさと館へ行きましたので紹介させていただきます。

期間中はスタッフの思いが通じたのか、お天気にも恵ま

れ楽しいバスハイクとなりました。

昼食はファミリーストランでランチをいただき、ご利用者様にとても喜んでいただきました。スタッフも嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

昼食後は、目的地の「博多町家」ふるさと館へ向かいました。

ふるさと館は、明治中期に博多織織元が建てた町家を1995年に移築復元した建物で、明治・大正の博多の伝統工芸や当時の暮らしや文化が紹介されており、ご利用者様も当時の事を思い出され、昔話に花を咲かせていらっしゃいました。

それから、櫛田神社に行き、おみくじを引かれたりお参りをされたりしながらゆつくりと散策しました。飾り山があり、あまりの迫力に驚きました。楽しい時間はあつという間に終わり、帰りの車内では「ほんとに楽しかったよ。また、連れていってね。ありがとね。」という嬉しい声をたくさんいただきました。これを励みに、より一層満足して



いただける行事を企画し実行していこうと思います。

興味をもたれた方、リハビリをされたい方、色々な方とお喋りを楽しみたい方、介護の事でお悩みなご家族の方、見学や無料体験を行なっておりますのでぜひご連絡ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



リハビリテーション室の紹介

リハビリテーションとは、身体の不自由な方々が生き生きと豊かに生活するために援助する支援体制の事です。さくら病院リハビリテーション科では、患者様がより効果的なリハビリテーションを受けられるよう医師の指導のもと各専門スタッフが協力しながら取り組んでいます。スタッフは、理学療法士10名、作業療法士5名、言語聴覚士2名、助手1名で構成されています。

理学療法士は主に、手足の力、体の動き、痛みの改善を行ない、患者様の運動する力を高めます。また物理療法といい、温熱、寒冷、水浴、電気、牽引療法などを行ない、痛み、腫れ、むくみなどの治療も行なっています。

作業療法士は主に、心身機能に障害がある方に手工芸等の作業活動を用いて運動機能、精神機能を高め、生活に必要な食事等の身の回りの動作、社会適応能力の改善を図ります。また、その方の生活環境、社会的役割に合わせて家事訓練、復職支援なども行い、環境や資源を整えることでその人らしい生活の獲得を目標としてアプローチしています。

言語聴覚士は主に、病気や事故により、言語機能に障害を来した方や、摂食機能に障害を来した方に対して訓練を行なっています。それらの障害に対して機能の回復を目指した訓練の実施や代償手段の検討などを行なっています。

当科では、患者様に安全で住みやすい住環境作りをアドバイスし、生活そのものを豊かにするため、日々業務に励んでおります。身体にご不自由があれば、担当の先生にご相談下さい。理学療法・作業療法・言語聴覚療法、各種専門スタッフが、それぞれの症状にきめ細かく対応し、入院から在宅、退院後もトータルにサポートします。



久留米大学認定看護師教育センター

緩和ケア分野 甲斐祭生さん・赤沢真代さん

緩和ケア認定看護師を目指し実習をして

5週間に渡り、さくらユニットで実習させていただきました。緩和ケア認定看護師を目指すにあたり、この実習で全てにおいて「基本が大事」ということを強く感じました。病態を理解し、看護の基本を理解し、人間関係を理解する。終末期の患者様は私たち医療者のことを全て見通されています。患者様と向き合う姿勢がなければ、患者様の苦痛は緩和されることが分かりました。患者様と向き合う中で、自分自身と向き合わなくてはならないことにも気がつきました。普段の自分の看護はどうなのだろうか。誰しもに必ず訪れる死の場面で、患者様がその人らしく生きたと思えるように支える看護とは大変難しいものであることを感じました。同時に、これ以上ない教えを患者様から学べるものでありました。



定看護師を目指す研修生が関わらせていただき、本当にありがとうございました。病院長、看護部長をはじめ、さくら病院のスタッフの方々の温かい人間関係は、私たちにも大変良く伝わってきました。「さくら病院に来て良かった」と思われる患者様・ご家族が沢山いるのを目の当たりにし、私たちも「あなたにあえて良かった」と思っていただけの緩和ケア認定看護師を目指したいと思えます。患者様のために何かをしたいと思う気持ちを忘れずに精進していきます。

超音波診断装置(エコー)を更新しました。

を新しくしました。

10月に超音波診断装置を更新しました。超音波診断装置とは耳に聞こえない高周波の音波を出し、跳ね返ってくる音波の強弱を解析し画像にする装置です。当院ではこの装置を使用し、頸部、心臓、腹部の検査をそれぞれの専門医師、検査技師によって実施しています。今回の装置更新によって、より速い血液の流速が測定可能となり心臓の大動脈弁の口の大きさが解析できるようになりました。これは大動脈弁狭窄症の診断に非常に有効です。モニターも液晶になり最適な画像条件を自動で調整、すばやく見やすい画像を映し出すことができますようになります。少ですがコンパクトにもなつたようです。さらに昨年導入したPACS(画像記録通信システム)に画像送信可能となり、X線画像、MRI画像などと同様にネットワーク上のモニターならどこでもエコー画像を見ることができるようになりました。





鹿児島旅行



H21年9月26日～11月1日の間、5班に分けて一泊二日の鹿児島満喫の旅に行ってきました！

リレーつばめから新幹線つばめへと乗り換え、さらにバスでの移動で少し長旅でした。しかし、宿泊した「白水館」では、日本のお風呂の歴史を再現したという元禄風呂や指宿特有の砂蒸温泉などで身も心もリラックスでき、料理も和を基調として作っておりとてもおいしく頂きました。旅館の庭園も広々としていて夜はライトアップされとても綺麗で、薩摩の歴史が並んだ薩摩伝承館も感慨深いものでした。旅行二日目。知覧観光組は「特攻平和記念館」に行ってきました。特攻隊員として戦死した少年達の遺品・遺書などが展示されており、こんな時代があったと思うと涙がでそうになりました。

はい、ちーず☆



そして今回のメインでもある鹿児島黒豚しゃぶしゃぶ！

残念だったのは朝食を食べ過ぎてあまりしゃぶしゃぶを食べられなかったことです。でもそれでもやっぱり本場で食べる黒豚はとってもおいしく、また食べにいきたいと思いました。

第5班を除いては天候にも恵まれ、無事に旅行を終えることができました。次回の旅行も楽しみにしています。

ボランティア通信

ある出会いと別れ

Aさん

(推定二十代後半の若い女性)

ある日緩和ケア担当の看護師よりAさんが頑なに心を閉じて会話が殆ど出来ないのが大変困っている、何とかならないものかとの話が有りました。私でよかつたらと話を受けました。

その日から私なりの方法でAさんの心を揉みほぐす事に二週間程の時間をかけました。それから車椅子で院外散歩に必ずでかけました。御天道様を浴びて、外の空気を吸い、緑を見て野花を見て、そよ風を肌で感じて、少しでも心身の開放感を感じてもらおう事に手応えを得ました。これからが私の本番とするところです。

院外の周辺には5～6ヶ所に小さな公園が有ります。Aさんは車椅子、私はベンチ(正面には向きあわない様に45度の角度を保つ)座る、互に横顔の状態。そして徐々に「世間話と云う傾聴」の段階へ移行。

ある時、私の想定外の話がAさんの口から出ました。それは私と携帯メール交信をしたいとの申し出が有り、私は即、快諾しました。私は大変嬉しかった。Aさんは私に対して心を開いて

くれたからです。

Aさんは双方の携帯にメール交信が出来る様にセットしてくれました。その日の夜から私はAさんが眠れぬ夜を迎えているだろうと推察してメールを流すと、すぐ返信メールが流れて来ました。私はメール文を①普通の文章②ユーモアを交えての文章③ある時は川柳風にとバラエティーに富む文章を流しました。Aさんが思わずニヤリとした顔で読んでくれている事を想像しながら。するとすぐ返信メールが流れて来ました。また二方で若い女性とのメール交信を考えて、早速ドコモ・ショップに行き絵文字の使い方を勉強して来ました。

その事でまた二つ文章に幅が広がりました。

約4ヶ月ぐらい毎夜メール交信が続きましたが、遂にとうとうAさんは天国へ旅立ちました。滂沱、滂沱、滂沱……

きつとAさんは私からのメールを待っている事でしよう。でも私は天国のAさんへメール送信する方法を知りません。どうか送信方法を御存じの方がいらっしやいましたら是非下記迄御連絡下さい。

ボランティア 佐藤弘幸様寄稿

SUTEFANO-1938@docomo.ne.jp
0900746111633

佐藤弘幸

ではまた。

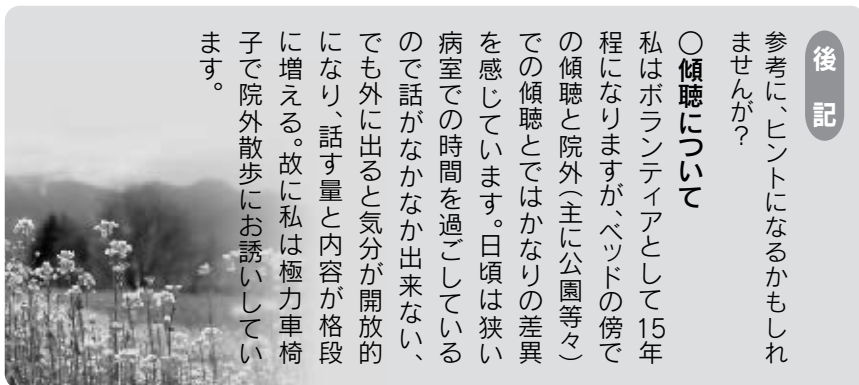


後記

参考に、ヒントになるかもしれませんが？

○傾聴について

私はボランティアとして15年程になりますが、ベッドの傍での傾聴と院外(主に公園等々)での傾聴とはかなりの差異を感じています。日頃は狭い病室での時間を過ごしているのに話がなかなか出来ない、でも外に出ると気分が開放的になり、話す量と内容が格段に増える。故に私は極力車椅子で院外散歩にお誘いしています。



●開放型病院登録医療機関ご紹介●

堀之内胃腸科内科医院



院長 堀之内 幸士 先生

福岡市城南区東油山2丁目3-7
TEL 092-861-5111

城南区東油山で内科胃腸科の有床診療所を開業致しております堀之内でございます。

さくら病院には、車でほんの5〜6分で行けます。

江頭啓介院長、江頭芳樹副院長とは、出身大学、医局でのつながり、福岡赤十字病院勤務医OBとしてのつながり等、開業なさる前から親しくお付き合い頂いておりました。そして、昭和58年御開業後は、(当時江頭病院として発足)私のところで対応に苦慮するような重症の患者さん達でも、いつも快く受け容れて頂く、いわばうしろだての病院として大変助けて頂いております。私どもの有床診療所では、基本的に患者さん達が身のまわりのことは自分自身でおできになることを前提にしております。

ので入院される前にいつもうちで十分なことがしてあげられない時は、近くにさくら病院がありますので、「とお話しし、ご本人のご了解を頂くことにしております。そして、さくら病院でお世話になった患者さん達は、殆ど皆「お蔭様で元気になり、よくして頂きました。よい病院を紹介して頂き有り難うございました。」と退院後私どもに御礼を云われます。

さくら病院のモットーは、「愛の心と確かな医療技術」と伺っております。この理念に向かって院長、副院長の御指導のもとにスタッフ御一同が確かな歩みを続けておられるさまは、はたから拝見致しましても目を瞠るものがございます。

江頭会さくら病院の益々のご発展を祈念いたします。

さくらユニット病棟

茶話会



H21年9月14日の茶話会で、クッキー作りに挑戦しました(#^_^#)
ココア味・抹茶味・プレーンの3種類の味で楽しみました。(人気は、抹茶味でした。)
皆さん一生懸命に作り、自分で作ったものをその場で焼いて食べた事に、とても嬉しそうでした(^_^)/

作ったものを他の患者様に分けたり、コーヒーと一緒に食べることで、話に花が咲き、とても良い時間がもてました。

内緒ですが、スタッフの私たちも、頂きました(^.^) 味もおいしく、みんなで食べることでより一層おいしく感じる事ができました。参加していただいた方からも「楽しかったよ。また、何か作りたいね。」と言っていただきました。

いい笑顔が、とても嬉しいですね。



上手よ ! (^.^)!
お母さん☆

むずかしいなあ
~(^0_0^)

うまくできたよ!

こうかしら...

おいしいよ~
(#^_^#)



さくら会 (遺族会)

緩和ケア病棟では、大切な方と近い将来、辛いお別れをされる御家族の悲しみのケアとしてグリーフケアというケアがあります。

また、お別れをされ残された御家族の方々にも、定期的にお葉書きを配信し、近況をお尋ねしています。その他にも年に1回、ご遺族の会(さくら会)を行っています。

本年度は、ご遺族の会(さくら会)が4回目の開催となり、城南市民センターにて9月5日に行われました。9組の御家族の参加をいただき、病院からは、院長を始め主治医や看護部長・MSW・臨床心理士・認定看護学生・病棟看護師・ボランティアの方々など多数参加し、2時間あまりの会は、和やかな中に進行了しました。御家族の皆様近況をお尋ねし、在りし日の患者様との思い出話は、尽きることがありませんでした。



また、終了時のアンケート調査におきましては、日時・場所・時間・方法など全てにおいて「大変良かった」とのお答えをいただきました。また中には、「次回会の時も参加したい」というありがたいお答えもいただき心強く思いました。

次回もより一層の改善を行い、実りある会にしていかなければならないと思っております。

これからも残された御家族の支援のひとつとして末永く関わりをもっていけたらと考えます。

さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が連携を密にし、患者様へ適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

「医療連携室」「医療相談室」のご案内

「医療連携室」

患者様へ適切な医療の提供が行えるよう、地域の診療所や病院、在宅サービス事業所等との連携に努めています。

「医療相談室」

退院後の生活に対する不安、福祉や介護サービスについて、経済的な問題、入院相談等についての相談を承っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

医療連携・相談室 TEL 092-864-1212 FAX 092-865-4570

担当者	医療連携室長	楠原 浩之	相談受付	
	室長	南里 幸嗣	平日	午前9:00～午後5:00
	医療ソーシャルワーカー	小川 美和	土曜日	午前9:00～午後12:30
		松山 章子		



■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外 来 診 察 表

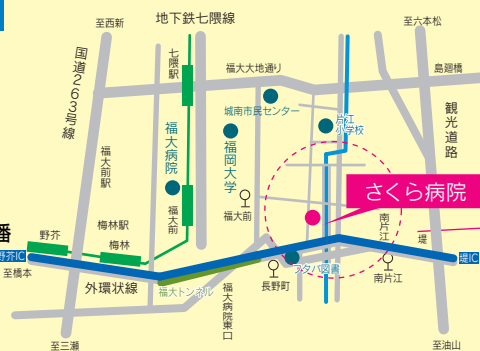
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	八坂 内科/胃腸科	村上 内科/心療内科	一瀬 内科/胃腸科		辰島 内科/心療内科	大隈 内科/糖尿病外科
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	石津 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科		佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	安部 脳神経外科	
専門外来(予約制)	午前	井上 神経内科外来		馬場 神経内科外来	渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	秋満 循環器外来		石津 血液・腫瘍外来 佐々木(靖) 循環器外来	楠原 肝臓外来 早田 肝臓外来	安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

■ 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)

■ バス(西鉄バス長野町バス停下車)
西鉄バス系統番号
(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番
(西新・飯倉方面より) 95番
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番
(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61,64,95番

■ 車(病院裏手に専用駐車場があります。)
天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら



社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570

E-mail: info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/>

(11月2日ホームページを更新いたしました)

(事務所 TEL 092-801-7386)